

2025 年 11 月 1 日

持続可能な地域社会プログラム連続セミナー#24

2025 年度 第 2 回目

日時：2025 年 11 月 1 日（土）14：00～16：00

実施方法：現地見学+講義+質疑応答・議論

場所：神奈川県横浜市青葉区すすき野団地

参加者数：12 名（大学院生、横浜市役所、横浜市公社、都市計画コンサルタント、本学教員・共同研究員 その他）

<概要>

今回は、神奈川県横浜市青葉区にある「すすき野団地」（分譲、団地型、5 階建て 約 800 戸）の現地見学などを実施した。前半は講義型で、すすき野団地の管理組合理事長伊志嶺様と一般社団法人団地暮らしの共創の代表田中様から団地の課題と団地再生の仕組みについてご説明を頂いた。後半は、ご案内のもと団地内を視察し、その後ディスカッションが行われた。ディスカッションでは、理事会での優先的課題である団地内でのコミュニティづくりと、エレベーターがないため、空室が顕著な 4 階や 5 階の対策について詳細にご説明いただいた。

「すすき野団地」は、住民の先進的な取り組みで団地再生を行う持続可能な地域づくりの事例である。この事例は、管理組合が主体となり団地を管理しつつ、負担の大きい清掃や植栽等において一般社団法人団地暮らしの共創に一部委託する仕組みを採用し活動している。

一般社団法人団地暮らしの共創は、理事会支援と団地の日常清掃を担っている。理事会支援では、団地の最大の悩みである高齢化に伴い、第三者的に理事会を支援することの必要性に係り、植栽の今後の計画策定や業者との調整、広報物の印刷など理事の方々の日常業務サポートを行っている。また、団地の日常清掃においては、団地内の住民を積極的に採用し、循環経済・サーキュラーエコノミーに寄与している。

<参加した大学院生の感想>

一般的に、住民の高齢化と人口減少やコミュニティの衰退が課題とされる団地において、住民が主体となり一般社団法人のサポートを受けて団地再生を行う「すすき野団地」の視察は大変興味深く、今後の持続可能な地域社会の実現に向けた研究の糧になった。今回の視察にご協力して頂いた管理組合理事長伊志嶺様、一般社団法人団地暮らしの共創代表田中様ならびに関係者の皆様方、そして、本研究会の皆様方のご協力に改めて深謝申し上げます。

参加した大学院生撮影の写真。



集会所での講義



だんちオレンジポスト



すすき野団地案内図



地域緑のまちづくり事業



整備された花壇と芝生



修繕された階段と玄関扉



清掃が行き届いた団地